



国連と共同で初めての国際宇宙天気ワークショップを福岡で開催

概要

平成 27 年 3 月 2 日 (月)～6 日 (金)、福岡市で宇宙天気研究に関する初めての国連ワークショップ「United Nations / Japan Workshop on Space Weather」を開催します。このワークショップは、日本政府の要請により九州大学をホストして開催するもので、国連宇宙平和利用委員会総会で公式に認められたものです。

本ワークショップでは、宇宙天気科学の最先端研究の成果に加えて、宇宙天気科学の国際的な共同教育研究体制、継続的な宇宙観測ネットワークの構築等に関する議論が行われます。国連側の代表者は元宇宙飛行士の土井隆雄氏です。各セッションで得られた所見と提言は国連公用 6 か国語に翻訳され、全世界に向けて発信されます。

■背景・内容

1. ワークショップについて

1990 年来、国連基礎宇宙科学イニシアチブ事業は国連研究集会の年次開催を通じて天文学と宇宙科学の国際的・地域的な発展に貢献してきました。特に、国際太陽系観測年事業 (the International Heliophysical Year: IHY, 2007-2009)、国際宇宙天気イニシアチブ事業 (the International Space Weather Initiative: ISWI, 2010-2013) は、世界各国、特に発展途上国における天文台施設や IHY/ISWI 関連の観測ネットワークの設置にも大きく貢献しています。この IHY/ISWI 事業を経て、2013 年より 国連宇宙平和利用委員会 (the Committee on the Peaceful Use Of Space: COPUOS) 科学技術小委員会に宇宙天気定常部会が設置され、国際的な宇宙天気^(*) 研究・事業について恒常的に議論する場が構築されました。

本ワークショップは、宇宙天気定常部会設置後、初めて開催される宇宙天気研究に関する国連研究集会であり、IHY/ISWI 事業後の宇宙天気研究に関する成果発表、国際的な協働体制やその指針を議論することが大きなアジェンダとなっています。

2. 九州大学主催の背景

COPUOS では、宇宙天気、宇宙デブリ^(**)、長期的持続可能な宇宙活動についての緊急議題が取り上げられ、特に、宇宙天気について宇宙環境観測ホスト国を含む若手人材育成のための能力強化の必要性とその具現化が、国内外から九州大学に強く要請されました (2011 年 10 月国連 ISWI 会議: アブジャ議決書)。こうした流れの中、九州大学国際宇宙天気科学・教育センターでは、ISWI の期間を通じて、「世界最大の全球地磁気観測データ収集システム (MAGDAS) の構築」、「宇宙デブリ環境モデリングの先導と、宇宙デブリ 3 次元観測網の立案」、「ISWI/MAGDAS スクールの継続的開催 (2010: エジプト、2011: ナイジェリア、2012: インドネシア、2013: コートジボワール、2015: 日本 (福岡))」、「観測網ホスト国の若手研究者を対象としたキャパシティ・ビルディング受け入れ体制の整備」等の事業を行ってきました。

こうした活動による九州大学への国際的信頼の醸成が、本ワークショップの受け入れに繋がっています。

3. ワークショップの内容

United Nations / Japan Workshop on Space Weather “Science and data Products from ISWI Instruments”

- ・日時: 平成 27 年 3 月 2 日 (月)～6 日 (金)
- ・場所: ザ・ルイガンズ スパ&リゾート (福岡市東区西戸崎)

- ・主催：国際連合宇宙局、九州大学
- ・共催・後援：外務省、文部科学省、日本学術振興会、情報研究通信機構、東北大学、名古屋大学、米
国航空宇宙局、国際科学会議/太陽地球系物理学・科学委員会、福岡市コンベンションビュ
ロー等
- ・参加予定：世界各国の研究者等 32 か国約 70 名、日本人研究者約 30 名
- ・使用言語：英語

(ワークショップのスケジュール等は別紙のとおり)

■効果

本ワークショップの開催により、人類の宇宙への進出と宇宙利用の拡大による社会基盤の安全・安心のためにも、今後益々重要となる宇宙天気科学の発展とその展開の為に国際連携体制構築の必要性が世界的に認知され、その環が大きく広がることが期待されます。

また、こうしたワークショップを九州大学が中心となって開催することにより、国際宇宙天気科学・教育センターの活動が加速化され、「キャパシティ・ビルディングを通じた日本独自の国際貢献として、アジア・アフリカ諸国における我が国のプレゼンス向上」、「我が国若手研究者の国際的教育能力の向上、国際的視野を持つ人材育成」などに大きく貢献することが期待されます。

■今後の展開

本ワークショップから発せられる「所見と提案」は、COPUOS 総会を通じて世界へと発信され、COPUOS 参加 65 か国の宇宙天気事業への指針となります。九州大学国際宇宙天気科学・教育センターでは、今後も国連・ISWI 活動を通じて、各国研究機関と連携し、宇宙観測網の長期的・継続的維持、宇宙観測・計測技術の世界的な研究教育拠点の形成を推進します。

【用語解説】

- (*) 宇宙天気：地球周辺の宇宙空間は絶えず、太陽活動によって乱されています。人類の健康や社会インフラに影響を与えるような宇宙放射線や地磁気嵐などの宇宙環境変動を「宇宙天気」と呼びます。
- (***) 宇宙デブリ：耐用年数を過ぎ停止した、または事故・故障により制御不能となった人工衛星やロケット、その破片、デブリ同士の衝突で生まれた微細破片の事を「宇宙デブリ」といいます。

【お問い合わせ】

大学院理学研究院／国際宇宙天気科学・教育センター

講師 吉川 顕正 (よしかわ あきまさ)

電話：092-642-4403

FAX：092-642-4403

Mail：yoshi@geo.kyushu-u.ac.jp

全体概要

- ・ 会議名 : 国連/日本合同宇宙天気ワークショップ
- ・ 開催地 : ザ・ルイガンズ スパ&リゾート (福岡市東区西戸崎)
- ・ 開催日程 : 2015年3月2日(月)～6日(金)
- ・ 開催式典: 3月2日(月) AM 9:00～9:40 (ザ・グランドビーチの間)

式辞 九州大学総長 久保千春

来賓挨拶

文部科学省 (調整中)

国連宇宙局代表 土井隆雄氏 (元宇宙飛行士)

大会国際委員長 Nat Gopalswamy 博士 (ICUS/SCOSTEP President, NASA)

- ・ 参加者情報 : 外国人 約 70 名、日本人 約 30 名
フランス、ロシア、スイス、オーストリア、ブルガリア、スロバキア、カザフスタン、サウジアラビア、モロッコ、エジプト、南アフリカ、ナイジェリア、コートジボワール、ケニア、ザンビア、スーダン、エチオピア、モーリシャス、米国、カナダ、メキシコ、ペルー、ブラジル、日本、韓国、オーストラリア、インド、スリランカ、フィリピン、ベトナム、インドネシア、マレーシア
(32カ国)
- ・ 期間中サイエンスセッション、ハンドオンセミナーの他、3つのパネルディスカッションが開催され、ここで纏められた所見と提言は、国連公用6カ国語に翻訳され、国連宇宙平和利用委員会総会で報告されます。

Tentative Time Schedule for UN/JAPAN Space Weather Workshop

Time Hour	2 Monday	3 Tuesday	4 Wednesday	5 Thursday	6 Friday
9	09:00-09:40 Opening Ceremony Welcome/Opening remarks	09:00-11:00 Session 2: Solar Weather /National Activities	09:00-18:00 Full Day Workshop: Solar-Terrestrial Environment Data Analysis	09:00-11:00 Session 6: Solar Weather Impact and Awareness	09:00-09:30 Session 7: Sun to Earth Space Weather Modeling 09:30-12:30 Session 8: Hands on seminar
10	09:40~ Keynote address				
11	11:00-11:30 Coffee brake/ Group Photo 11:30-12:15 Symposium Introduction	11:00 -12:00 Session 3: Weak Solar Activity	12:00-13:00 Lunch	Session 6	12:30-13:30 Lunch
12	12:15-13:15 Lunch	12:00 -12:45 Session 4: Coupling Processes		11:30-13:00 Panel Discussion 3: Space Weather Data Utilization and Operational Use	
13	13:15-16:30 Session 1: Space Weather Instrumentation	12:45-13:45 Lunch	Full Day Workshop: Solar-Terrestrial Environment Data Analysis	13:00-14:00 Lunch	13:30-16:00 Session 9: Observations, Recommendations , and the Way Forward
14		Session5: Magnetosphere, Ionosphere and Atmosphere		14:00	
15	15:00-15:30 <i>Coffee/Tea Break</i>	15:00-15:30 <i>Coffee/Tea Break</i>	15:00-15:30 <i>Coffee/Tea Break</i>	<i>Cultural Event Excursion/ Free Afternoon</i>	15:00-15:30 <i>Coffee/Tea Break</i>
16	16:30~ Panel Discussion 1: ISWI Instrument Network and Future of ISWI	16:30~ Panel Discussion 2: International cooperation in Space Weather	Full Day Workshop: Solar-Terrestrial Environment Data Analysis		16:00-17:00 Closing sessions
17				17:00~ Adjourn/ end of workshop	
18	18:30~ ICE Breaker	18:30~ Dinner	18:30~ Banquet		



UNITED NATIONS/JAPAN WORKSHOP ON SPACE WEATHER

"Science and Data Products from ISWI Instruments"
2-6 March 2015, Fukuoka, Japan

Workshop Venue : The Luigans - Spa & Resort, Fukuoka.

This workshop continues the series of UN space-weather-related workshops conducted around the world for IHY (International Heliophysical Year, 2007-2009) and ISWI (International Space Weather Initiative, 2010-2013).

Hosted by the International Center for Space Weather Science and Education (ICSWSE) of Kyushu University, on behalf of the Government of Japan.

Official Workshop Website :

[http : //www.unoosa.org/oosa/en/SAP/act2015/japan/index.html](http://www.unoosa.org/oosa/en/SAP/act2015/japan/index.html)

Kyushu University
International Center for Space Weather Science and Education
Ito Campus, Kyushu University
744 Motoooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395 JAPAN
Telephone: +81-92-802-6240 Fax: +81-92-802-6240
E-mail: office@icswse.kyushu-u.ac.jp

